

平成 29 年度武道学園校外授業を実施



剣道稽古

参加者一行は、日本武道館からバスで出発し、昼前に研修センターに到着。昼食をとり、稽古着に着替えると、大道場に整列。開校式では、片岡正徳日本武道館普及課長と、太田忠徳剣道講師が挨拶を行った。

1日目は、講師による模範演武、各道稽古、体験稽古が行われた。模範演武では、講師が分かりやすい解説とともに技を披露し、生徒は目を凝らして見学した。

演武のあと、千畳敷きの大道場全面に加えて研修室も利用し、各道の稽古が1時間半にわたって行われた。道場には暑さに負けない大きな掛け声や気合の音が響きわたった。

休憩後、武道学園校外授業ならではの企画「体験稽古」が行われた。自分が所属する武道以外の種目を選んで、体験することができる。いろいろな武道の生徒が混じって行われるので、生徒同士の良い交流の場にもなったようだ。

夜は、懇親会が屋外バーベキュー場で開かれ、講師を囲み、武道の枠を超えて武道談議に話を咲かせた。

翌朝、生徒は朝早く起床し、勝浦朝市で家族へのお土産を探したり、自主稽古で自身を鍛えたりした。

この日は、午前中に2時間の各道稽古が行われ、前日に続き、熱心な稽古が展開された。稽古終了後、大道場に整列して校外授業を締めくくる閉校式が行われ、吉井美恵子なぎなた講師が挨拶に立ち、参加者へ労いの言葉をかけた。

昼食後、バスに乗って研修センターを出発し、午後4時前に日本武道館へ到着。生徒たちは9月から再開する授業での精進を胸に、帰路に就いた。



合気道体験稽古



少林寺拳法稽古



なぎなた稽古



空手道体験稽古



杖道体験稽古